

第 1 2 回各務原市地域公共交通会議 議事録

日 時	平成 2 8 年 1 2 月 2 1 日（水） 1 3 : 3 0 ~
場 所	各務原市役所 産業文化センター 8 階第 1 特別会議室
委 員 (敬称略)	【出 席】 武藤 行儀 （岐阜乗合自動車株式会社） 大野 収 （株式会社岐阜バスコミュニティ取締役社長） 福田 英司 （東海旅客鉄道株式会社鉄道本部総務課課長代理） 夫馬 康昌 （名古屋鉄道株式会社西部支配人室営業総務課長） 石井 靖治 （岐阜交通東部株式会社常務取締役） 坂 政佳（岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長） 山田 芳喜 （社団法人岐阜県バス協会） 松田 吉彦 （株式会社岐阜バスコミュニティ労働組合執行委員長） 宝島 一雄 （鵜沼自治会連合会長） 足立 千春 （子ども子育て会議委員） 清水 孝子 （八木山地区生活支援ボランティア事務局員） 宇佐美 有紗 （中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官） 瀧瀬 英一 （各務原警察署交通課長） 津田 忠孝 （各務原市議会経済教育常任委員長） 各務 英雄 （各務原商工会議所専務理事） 倉内 文孝 （岐阜大学） 磯谷 均 （各務原市副市長） 【事務局】 各務原市 産業活力部商工振興課

・委員長あいさつ

・議事

- | | |
|--------------------------------|--------|
| ①ふれあいタクシーの改正について（修正） | 【資料 1】 |
| ②各務原東部線の再編について | 【資料 2】 |
| ③地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について | 【資料 3】 |
| ④ふれあいタクシー「須衛町 1 丁目」停留所の移設について | 【資料 4】 |

・報告

- | | |
|---|--------|
| ①ふれあいバスのバス停名称変更について | 【資料 5】 |
| ②利用促進事業について | 【資料 6】 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・各務原市交通安全対策協議会事業での利用促進 ・マーケット日和での利用促進 ・産業・農業祭での利用促進 | |
| ③ふれあいバスマップ及びふれあいタクシーチラシの修正について | 【資料 7】 |

・その他

■委員長あいさつ

委員長 挨拶

皆さんこんにちは。本日は第12回各務原市地域公共交通会議、年末の大変お忙しい中にもかかわらずご出席を賜りまして誠にありがとうございます。委員の皆さま方におかれましては平素から十分にご理解ご協力をいただいているところでございます。

この会議は、鉄道、路線バス、ふれあいバスやふれあいタクシーなど公共交通における円滑な運営また安定的な運営を目的としております。今回の議事の中にも、岐阜バスコミュニティ様の路線バスの各務原東部線の再編につきまして、ご審議をいただく予定となっております。

全国的にはバス路線が廃止されるという傾向がある中で、本市におきましては各務原東部線におきまして、東海中央病院への円滑な接続を実現することが出来ました。われわれのふれあいバスとの連絡また経営関係についても協議を行い、実現をすることに成功したものでございます。

このことにつきましては、東部の大型団地から大きな要望がございました。それにお答えしようとするものでございます。この協議会におきましても、路線バスを含め持続可能な公共交通ネットワークを目指してまいりたいと思います。

引き続き、皆さま方のご支援お力添えを受けたまわりますよう、お願いを申し上げます。それでは慎重なご審議をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

■議事

- ・議事①ふれあいタクシーの改正について（修正）について

※委員からの質問や意見は、なし

- ・議事②各務原東部線の再編について

報告・意見
＜清水＞ 地域で、「みんなで各務原東部線に乗りましょう」とキャンペーンをやって、時刻表を配布したり、集会場に時刻表を張り出したりと努力したが、乗客の数は増えず、いつもバスを見るたび、「今日は1人か」「今日は0か」と思いながら、本当によく走っていただけると感謝して頭を下げてバスを見送っている。 廃止ではなく、残していただいたこと本当に感謝している。とっても有り難いバスであったけれども、本数が少なくなったことはやむをえなと思う。私どもの要望を入れて新しい路線を作っていただいたり、料金の配慮をしていただけたことは本当に感謝している。このことは地域について伝えたい。

- ・議事③地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
＜バス協会＞ ● 「4. 具体的取組みに対する評価 利用者数と輸送力のバランス」について、平均乗車人員は、5人以上の8.2人であり、評価は○になっている。年間利用者数は、18万人になっており、20万人を下回っている。これは、平均乗車人員が5人以上であれば、年間利用者数が20万人になるという計画ではないのか。	＜事務局＞ ● ご指摘のとおり、平均乗車人員が5人以上であれば、年間利用者数が20万人に達成するものというものではない。市内にはデマンド交通も一部入っており、乗合率を高めることによって、利用者数が向上することもあるため、必ずしもイコールで繋がってくるというものではない。

- ・議事④ふれあいタクシー「須衛町1丁目」停留所の移設について

※委員からの質問や意見は、なし

■報告

- ・報告①ふれあいバスのバス停名称変更について

※委員からの質問や指摘事項は、なし

- ・報告②利用促進事業について

報告・意見

<東海旅客鉄道 福田>

JR東海では、「さわやかウォーキング」の取組みをしている。11月26日にも鵜沼駅をスタートとして「尾張のもみじ寺と呼ばれる寂光院と国宝犬山城を訪ねて」というコースを地元の皆さまのご協力をいただきまして開催した。1,533名のご利用があり、大変好評に終わることが出来た。

また、新春1月から3月のパンフレットをお配りしたが、またこちらの方も引き続きご参加いただければと思う。引き続き、地元の皆さまのご協力を得ながら、こういったイベントをさせていただきたい。

<名古屋鉄道 夫馬>

名鉄のハイキングを各務原市の関連のものとして、最近5年の実績では、平成24年と平成25年は3本ずつ、平成26年と平成27年は4本ずつ、今年は2本のコースを開催した。各務原市役所前駅、新鵜沼駅、名電各務原駅もしくは六軒駅辺りがスタートもしくはゴールとして開催をさせていただいた。

もちろん地元のご理解がないとこういった催しもなかなか出来ない。観光協会をはじめ、いろいろ連携を取り、或いは企業等と連携を取りながら行っている。

また、航空祭が毎年開催され、今年も10月30日に開催された。その際の輸送に関しても6時台から多くのお客さまがいらっしゃるのので、通常2両から4両のところを6両編成で運行し、輸送力を確保していくとともに、警察の方にもご協力いただいている。

そういった形で少しでも各務原市の地域の発展に繋がればということでご協力させてもらっている。

<岐阜乗合自動車 武藤>

当社の輸送人員は、ここ3年余りは下げ止まっており、若干増加に転じている状況である。

バスの利用促進について、本年度実施したものを3つばかり紹介したい。

1つ目は、先程から話が出ている高齢者の交通事故防止対策として、当社独自で運転免許証返納制度というものを掲げている。これは本年の10月1日から実施しており、運転免許証を自主返納されて運転経歴証明書が交付されたお客さまに対し運転経歴証明書の提示により、現金支払いのみ運賃を半額にしている。まだ2ヶ月ばかりだが、2ヶ月間で約250名程度のご利用、1日当たり大体4名ほどのご利用という実績である。

2つ目は、土日限定の1日乗車券を実施している。春と秋に実施しており、1枚500円で一般路線は乗り放題になるというもので、春と秋合計で4万7千枚を発売した。これにより新しい需要の開拓に繋がっている。

3つ目は、バスの乗り方教室を実施しており、小学生向けに年に4回から5回ほどやっている。感想を聞くと「バスに初めて乗りました」や「両親と一緒に乗ってみたい」等の意見が寄せられている。

当社としても引き続きこういったバスの魅力づくりに取り組んでいきたいと考えている。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
＜清水＞ ● 過去に運転免許証を自主返納した者がその証明証をもらうことは、いつまで出来るのか。また、どこへ行けば出来るのか。	＜各務原警察署 瀧瀬＞ ● 運転免許証の自主返納というのは、正式には取消しを自主申請し、その後、取消しを受けるということになる。失効して返納した人には、履歴証明は出ない。申請取消しをされた方は、その後5年間は、履歴証明は出来る。すぐでなくても構わない。申請は警察署の窓口で出来る。交番では出来ない。

・報告③ふれあいバスマップ及びふれあいタクシーチラシの修正について

※委員からの質問や意見は、なし

■その他

報告・意見

<宝島>

前回報告のあった調査結果について大変ご苦勞様という一言に尽きる。3日間、実際に調査したことも大変だが、そのあとの解析や評価の方がかなり大変だったと思う。しかし、それだけ労力を使ってやっているが、アウトプットのない仕事が含まれていたことに対しての不満があった。

サンプル数に格差があるというのもそうだが、統計データを処理する過程で数字はそのままてくるが、それに本当に意味があるのかというと、その視点がこの中では何ページかは無いものがあるって残念である。そういうところをくくるなり、切るなりの思想が必要だと思う。こういうアンケート調査の場合、コストがかかる。コストがかかる分については、最初の設計の段階で予算を組まないといけない。結果として予算が足りないということになってしまわないよう、アウトプットに結びつく設計や予算を是非お願いしたい。

最初の設計の段階で組立て、そこにつける予算というところが今回は少し抜けていた。今後直していただけるとこれだけの厚い報告書ですばらしいものになるのではないかな。

報告・意見

<岐阜県公共交通課 大城戸>

名鉄の新那加駅のバリアフリー化を決められている中、各務原市と名鉄に加え、岐阜県も支援させていただいている。小さくない負担がある事業ではあるが、バリアフリー法の目標32年度に向けて事業が実現した。非常に感謝している。

今日もきめ細やかな公共交通の施策を議事としていただいているが、より良きものとなるようにがんばってもらっていると思う。

<各務原警察署 瀧瀬>

先程の自主返納の支援制度についての報告で12月に20件の申請があったということだが、警察に申請があった数とほぼ連動している。11月末で133件、12月20日現在で155件であり、12月に23件になる。概ね警察で申請された方が市役所で支援制度を申請するように、上手く機能していると感じている。

また、自主返納の数そのものがほぼ倍近く増えている。去年は年間で85件であったが、今年は昨日現在で155件になり、倍に近い数に増えている。各務原市や岐阜バスの制度等が利いていると思っている。ありがたいと思っている。

法改正の関係で1つだけ説明させていただきたい。3月12日に道路交通法の改正があり、準中型免許という新しい免許が増える。また、高齢者対策がある。岐阜県の場合、今まで高齢者講習は自動車学校に行き、それから免許センターで更新という流れであった。今後は、その前段階として70歳以上の高齢者講習を受ける方の中でも75歳以上の方は自動車学校へ行く前に免許センターに行って、認知機能検査を行い、合格した方が自動車学校で更新という流れになる。ひとつ段階が手前に増える。

認知症という物忘れのイメージがあるが、交通的に危険だと思われるのは判断力の低下になる。交差点で信号の判断が出来ない等、判断できないということが危険になる。運転をしていて信号無視、一時停止違反、通行違反、人身事故等をやった方は、その段階で認識検査の対象になってくる。

このように関門がいくつも増えることになり、自分ももう潮時と思われる方の自主返納が更に増えてくると思う。受け皿としてこういった取組みがかなり大事になるので、引き続きよろしくをお願いしたい。

倉内先生 総括

皆さまお疲れ様でした。今日はずっと議論お聞きしまして、やはりきめ細かい対応といいでしょうか、こまごましたところに対して、更なる検討をいただいているところが非常にいいところだと思います。今後も続けていっていただければと思います。

議論の中で少しコメントさせていただくとすれば、1点目はやはりいいなという意味でお聞きしたのは、東部線の再編に関して、この会議でしっかりと議論できたということではないかと思います。特に、路線を見る限りですと、ふれあいバスの朝夕線とほぼ同じ様な路線を走っています。ただし、当然ながらダイヤの時間もずらしており、そういった意味でも連携というのは重要になってきます。今回そのように検討していただいたというのは非常によかったと思います。大事なのは、使っていただかないとこれも残らない可能性があるということです。そのための行政としてのご努力として広報もよろしく願いしたいと思います。

もう1点は、最後の議論でありました免許の返納の話です。こちらではそのための補助をやっているわけですが、それに加えて、それだけニーズが増えてくるということもあります。このあたりもしっかりと需要の方を見極めながら、必要な便の設計に活かしていただければと思います。

この2点はとても大事だと思いますので、今後も是非よろしくお願いします。